

## 地区補助金活用 東日本被災地支援 福島県児童養護施設寄贈事業（最終）報告書

先日、9月16日（土）に伊勢崎ロータリークラブ会員16名とローテックスの関純之介君と青少年長期交換受入学生ジュリーさんと共に18名で、白河学園での寄贈品贈呈式に出席いたしました。朝9時にバスにて出発し、11時20分に「魚しず本家」にて昼食をとりました。思いのほか廻りの景色が綺麗で、昼食後に記念写真を撮りました。その後、時間にゆとりがありましたので、小峰城を見学し涼しい気候のせいか全員が元気に階段を上り、城までたどり着きました。因みに城の前でも記念撮影をいたしました。

そして、午後1時25分頃に目的地である白河学園へ到着しました。最初に白河学園の斑目園長、高橋主任指導員と贈呈式の打ち合わせを行い、施設見学をしながら児童養護施設の現状をお聞きいたしました。

午後2時から堀川愛生園伊藤施設長と森の風学園滝田主任も到着し、3施設への寄贈品贈呈式が始まりました。贈呈式には職員その他、子どもたちも多数参加してくれました。石田会長から目録を渡す際には、3施設から2名ずつの子どもたちへ心を込めて手渡されました。その後、3施設連名での感謝状を頂き、堀川愛生園、森の風学園、白河学園の順でお礼のお言葉も頂戴し、最後に児童を代表して白河学園の子どもから、「音が静かな掃除機をいただき、隣の部屋を気にせず掃除ができる。布団クリーナーのお陰で、寝るときに布団が気持ちいい」と心が温まる大変嬉しい言葉を聞いて、感動いたしました。

贈呈式終了後、子どもたち、職員の方も含め記念撮影を行い、もう一つの目的である「汗をかき奉仕」へと移りました。伊勢崎ロータリークラブのポロシャツに着替え、9名はプランターへの土入れと花植えを行い、残りの9名は園庭の除草作業で、黙々と想いを伝えました。プランターの多さに最初は驚きましたが、多くの子どもたちと優しい職員の方々も一緒に作業をしてくれて、段取り良く花を植えることができました。

その後、18名の一行は一列に整列し、温かく迎えてくれた方々にお礼を述べ、帰りのバスに乗り込みました。皆さんが最後まで手を振ってバスを見送ってくれました。

帰りのバスでは、慰労会を踏まえサロン形式で飲食をさせていただき、アカペラの本場の英語の歌を奏でるジュリーに聴き惚れました。18時過ぎにプリオパレスに到着し、伊勢崎花火も予定通り開催できることにホッと、余力のある12名は伊勢崎スペインバルにて、バスでの慰労会後の下山祝いを行いました。

この度の福島県児童養護施設寄贈事業は、柏井年度に起案・地区申請、峯岸年度に除雪機を寄贈、森田年度で衣類乾燥機や冷凍庫等を寄贈、そして今年度が最終年度で福島県児童養護施設全8か所へ物心両面においての想いを伝えることができました。私は最終年度だけ福島へ行かせていただきましたが、本当にいい経験をさせていただきました。今まで何年もこの事業に携わった皆様のご苦勞をしっかりと受け止めて、無事に帰って来れたことに感謝しております。沢山の方々にご協力をいただき、本当に有難うございました。

【寄贈品】

白河学園：掃除機、布団クリーナー、収納台 各2台

堀川愛生園：空気清浄機 5台

森の風学園：除雪機 1台

購入額：829,800円 内 地区補助金：496,828円

【参加者】

石田保会長、森田高史直前会長、星野文彦幹事、関徹也幹事エレクト

藤生政雄パスト会長、山崎健一(奉仕プロジェクトGL)、久保木雅彦(公共イメージGL)

柳井正臣(職業奉仕TL)、高橋しげみ(ローターアクトTL)、奥野哲司(R財団TL)

小此木正博(親睦TL)、小澤弘(会場監督)、久保貴則(親睦)、須藤正也(青少年奉仕)

関純之介(ローテックス)、ジュリー(青少年長期交換受入学生)

岡部修久(地域社会奉仕)、加藤学(地域社会奉仕TL) 計18名

※当日は、福島民友新聞社が寄贈式の取材にお越しになりました。



(報告者：地域社会奉仕 TL 加藤 学)